



福島

最新の鋼材加工技術で
多様なものづくり
南相馬市に活気を！
地域の雇用を守る

コワタコーポレーション

コワタコーポレーション(福島
県南相馬市原町区大木戸字南東
方、木幡勝彦社長、0244・26・
8435)は、県北東部の太平洋に
面した南相馬市で、昭和56年の創
業以来、主にホテルやレストラン、
コンビニの厨房、学校や病院の給
食室で使う厨房機器を製造してい
る。永年培ってきた金属加工の技
術で、ステンレスをはじめとする
各種鋼材の高度な加工が可能であ
る。

東京電力福島第一原発から十数
キロにある同社工場は、東日本大
震災により床
や壁が破損す
る被害を受け、
さらに原発事
故後は従業員
50人全員が避
難したため一
時は事業の継
続も危ぶまれ
た。しかし、木
幡社長の迅速
な対応と地域
復興への熱意
で、約3カ月後
には事業を再
開、隣町に間借
りした仮設工
場で、震災後増
加した厨房機
器の需要に応
え続けている。
また、震災
後、炊き出し用
の「大型緊急炎



「よい仕事おこしフェア」でも、南相馬市の活力をPR!

「害用煮炊き釜」を特注で開発した。
もともとは芋煮会などイベント用
の野外型大型ステンレス鍋であつ
たところ、「薪の弱い火でもよく
熱を伝導する特長から、災害時の
炊き出しに活用できる」と、商品化
に踏み切った。防災意識の高まり
に伴って、同商品は製造が間に合
わないほど引き合いが多い。

来年5月には、市内の下太田工
業団地に新工場が完成予定であ
り、同工場には最新のファイバー
レーザー溶接システムや曲げ加工
用のハイブリッドデジタルマシン
などを導入し、さ
らに高度な加工と
高品質な仕上がり
が可能となる。現
在は主に業務用の
スチームコンベク
ションオーブンや、
ペーカリーオーブ
ン、消毒保管器な
どを製造している
が、新工場の高度な
技術と設備を活か
し、厨房機器以外の
分野にもチャレン
ジしていく方針と
いう。南相馬市は震
災後避難した多く
の若い世代が未だ
に帰還していない。
「新工場建設により
雇用の場を創出し、
地域の復興に役立
てたい」と木幡社長
は語る。